

2020年8月1日(土) — 10月18日(日)

休館日 | 月曜日(ただし、8月10日、9月21日は開館)、8月11日(火)、9月23日(水)

開館時間 | 10:00~17:00

会場 | 広島市現代美術館 地下1階ミュージアムスタジオ

協力 | Gallery PARC、京都芸術センター、成安造形大学 情報メディアセンター

入場無料

澤田華

夏の
オープン
ラボ

Hana Sawada

巡回
夏

Open Lab

Summer



A 360-degree Detour

360°



夏のオープンラボ

澤田華 360°の迂回

Summer Open Lab

Hana Sawada: A 360-degree Detour

「夏のオープンラボ」は、多彩な表現活動についてさまざまな方法による

紹介を試み、美術館活動の可能性を探る、当館における実験的な展覧

シリーズ企画です。今回は、アーティストの澤田華をテーマに、

これまで、言葉やイメージの誤読・誤解といった現象に着目し、そこから無限

に広がる解釈の可能性を作品として表わしてきました。

みなさんは、電車の中や喫茶店など、同じ場所に偶然居合わせる

ぬ人々の声が聞こえてきたら、どうしているでしょう。耳に届く

な音や声を遮断する方法はいろいろあるでしょう。澤田は、耳に届く

できてしまう人の話し声や会話のうち、はっきりと聞き取らな

い(る)声のみを、機械のように書き留めることで追い払い、無心になる方

法を思いつき、時々実践しています。そこで、この「360°の迂回」

工程で多くの情報が抜け落ち、脈絡を失って音に浮いたようなフレーズや

んだメモが残ります。気づけばそれなりに溜まった

なんなのかな、どんな意味をもち得るのかな、とメモを見るたび湧き起るその

疑問を出発点として、新作に挑みます。元の文脈が

フレーズの解釈をめぐって、敢えて遠回りをすることで、改めて

もの景色を楽しんでいただく機会となるでしょう。

また、作品制作でアーティストがたどったプロセスの一端を内容と共有す

る試みを、市内各所を舞台に展開します。コロナと

てワークショップは可能なのでしょうか。この試みは、互いの

アーティストが実践している、ともすれば不毛にも見える

しみは見つかるのか? 是非ご参加のうえ、見極め、楽しめてください。

広島市現代美術館

Hiroshima City Museum of Contemporary Art

これ田 everybody で知ってるか

だからメッセージ書いてん

たぶんがテレビのあれ

たぶんあの二ト手つないだりしてんもん

たぶんたぶん

たぶんか"終わったん? 人生?"

たぶん 人生って10回言ってる

人生 人生 人生 人生

それ死んでるやん

崩れ方 KH21

ん 思う その方が楽

それ good

どうぼういま一す

右側の扉

2020年8月1日(土)―10月18日(日)

休館日 | 月曜日(ただし、8月10日、9月21日は開館)、8月11日(火)、9月23日(水)

開館時間 | 10:00~17:00

会場 | 広島市現代美術館 地下1階ミュージアムスタジオ

協力 | Gallery PARC、京都芸術センター、成安造形大学 情報メディアセンター

入場無料

澤田華

夏の
オープン
ラボ

Hana Sawada

巡回
夏

Summer

Open Lab



A 360-degree Detour

360°



夏のオープンラボ

澤田華 360°の迂回

Summer Open Lab

Hana Sawada: A 360-degree Detour

「夏のオープンラボ」は、多彩な表現活動についてさまざまな方法による紹介を試み、美術館活動の可能性を探る、当館における実験場としてのシリーズ企画です。今回は、アーティストの澤田華を紹介します。澤田はこれまで、言葉やイメージの誤読・誤解といった現象に着目し、そこから無限に広がる解釈の可能性を作品として表わしてきました。

みなさんは、電車の中や喫茶店など、同じ場所に偶然居合わせた、見知らぬ人々の声が聞こえてきたら、どうしているでしょうか。自分にとって不要な音や声を遮断する方法はいろいろあるでしょう。澤田は、耳に飛び込んできてしまう人の話し声や会話のうち、はっきりと聞こえた(と本人は思っている)声のみを、機械のように書き留めることで追い払い、無心になれる方法を思いつき、時々実践しています。そして、この行為の後には、一連の過程で多くの情報が抜け落ち、脈絡を失って宙に浮いたようなフレーズが並んだメモが残ります。気づけばそれなりに溜まったこれらのメモは、一体なんなのか、どんな意味をもち得るのか? メモを見るたび湧き起こるその疑問を出発点として、新作に挑みます。元の文脈から切り離された、あるフレーズの解釈をめぐる、敢えて遠回りをすることで見えてくる、いくつもの景色を楽しんでいただく機会となるでしょう。

また、作品制作でアーティストがたどったプロセスの一端を観客と共有する試みを、市内各所を舞台に展開します。コロナとともにある時代、果たしてワークショップは可能なのでしょうか。この試みは成立するのか、アーティストが実践している、ともすれば不毛にも見えるこの行為に、意味や楽しみは見つかるのか? 是非ご参加のうえ、見極め、見とどけてください。

広島市現代美術館

Hiroshima City Museum of Contemporary Art

別紙: 澤田華のノートより

澤田華 | 1990年、京都生まれ、同地在住

2014年、京都精華大学芸術学部メディア造形学科版画コース卒業。2016年、同大学大学院芸術研究科博士前期過程修了。主な展覧会、受賞歴に、「あいちトリエンナーレ2019」(愛知、2019)、「群馬青年ビエンナーレ2019」(群馬、2019、奨励賞受賞)、個展「見えないボールの跳ねる音」(Gallery PARC、京都、2018)、「写真新世紀2017年度・第40回公募」(東京、2017、優秀賞受賞)など。



参考作品 | 57のプレビューおよび目下のシーン, 2019
57 previews and the current scene, 2019



参考作品 | Gesture of Rally #1705, 2017

ワークショップ(は可能か?)「波立つ心の迂回ルート」

人々の声や会話を無心になって拾ってみることを目的に、街中へ繰り出します。同じ場所と時間を共有しながらも、同じ課題を個々人で黙々とこなし、コロナ時代のワークショップ。

- ① 8月1日(土): 広島駅編 ② 9月12日(土): 金座街編 ③ 10月17日(土): 室内編

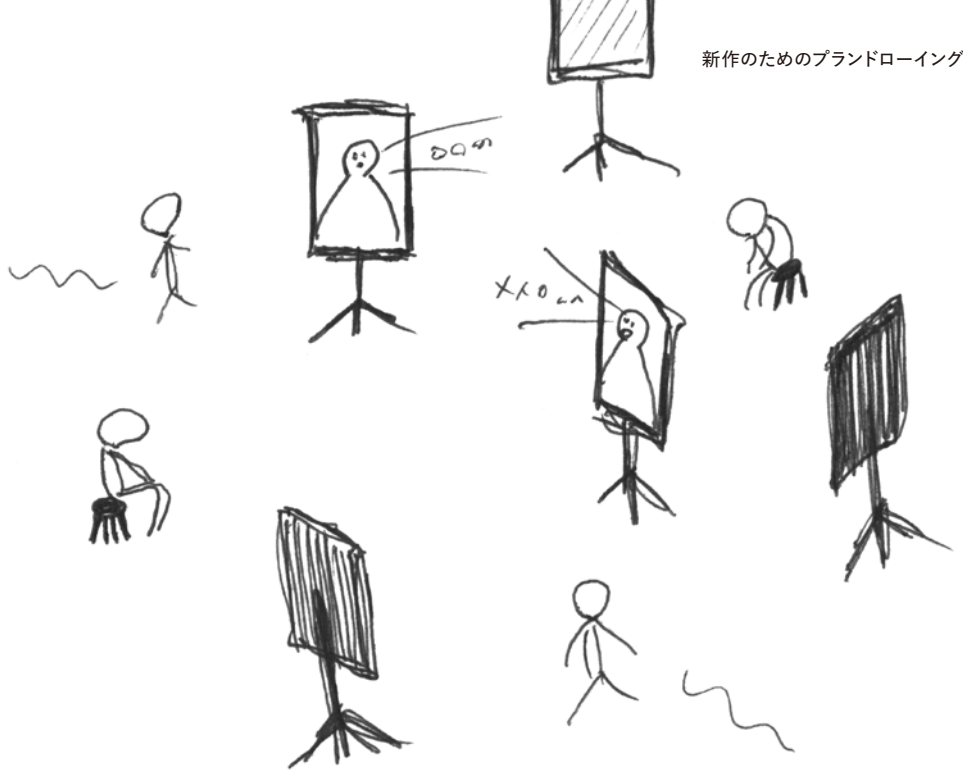
* 日時、集合場所等の詳細は、当館ウェブサイトをご覧ください。

* 新型コロナウイルス感染症拡大の状況によって、開催日や開催方法等、変更となる場合があります。



参考作品 | Coping with Noises (部分), 2017

新作のためのブランドローイング



澤田華

Hana Sawada

360°

A 360-degree Detour

夏のオープンラボ

回遊 Open Lab

Summer



参考作品 | Gesture of Rally #1805, 2018
Photo(上): シュヴァープ・トム / Tomas Svab



[交通案内]

広島駅から 路面電車: 5番「広島港」行き→「比治山下」下車、約500m/バス: B-7番のりば、大学病院・旭町・県病院方面→「段原中央」下車、動く歩道「比治山スカイウォーク」経由で約700m/タクシー: 約10分

紙屋町または八丁堀から バス: 紙屋町(県庁前)バス停または八丁堀(ヤマダ電機前)バス停、広島バス(23-1番系統)「大学病院」行き(比治山トンネル経由)→「段原中央」下車、動く歩道「比治山スカイウォーク」経由で約550m

[駐車場]

美術館専用の駐車場はありませんので、周辺の駐車場をご利用ください。

① 比治山公園内(約120台分、無料、利用時間9:00-19:00)

② 広島段原ショッピングセンター駐車場(1Fサービスカウンターへ当館の入館証明提示で当日に限り3時間無料)



広島市現代美術館
Hiroshima City Museum of Contemporary Art

732-0815 広島県広島市南区比治山公園1-1
Tel 082-264-1121
<https://www.hiroshima-moca.jp/>